

IPCC-TSU Web サイト再構築業務
入札募集要項(再)

2025 年 4 月

公益財団法人地球環境戦略研究機関

IPCC-TSU Web サイト再構築業務 入札募集要項

1. 目的

本募集要項は、公益財団法人地球環境戦略研究機関（以下、「IGES」という）は、IPCC-TSU Web サイト再構築業務（以下、「本業務」という）について、総合評価入札方式により、提案を公募し、審査等を経て受託業者を選定し、ひいては、本業務を委託するものである。

2. 業務の内容

別添の IPCC-TSU Web サイト再構築業務委託仕様書（以下、「仕様書」という）に示す。

3. 業務の提案、審査、事業者の選定の概要

本業務の受託を希望し、4の参加資格を有する者は、仕様書を基に、具体的な業務実施の内容や計画を「技術提案書」としてまとめ、入札書に添付して、IGES に提出する。

提出された入札書類について、IGES が提案内容を技術面、運用面及び費用面で審査し、比較検討を行い、もっとも優れた入札書を提出した事業者を決定する。IGES 担当部署との協議・調整を経て、必要な修正が加えられ、委託業務内容が確定される。

4. 参加資格

以下のいずれにも該当しないこと。

- ① 会社更生法、民事再生法に基づき更生又は再生手続きをしている者
- ② 債務の不履行により、所有する資産に対し、仮差押え、保全差押え又は差押えの命令及び競売手続の開始決定を受けている者
- ③ 税金を滞納している者
- ④ 国、地方自治体の競争参加において、排除措置命令を受け、かつその期間内である者
- ⑤ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2 条第2 号に規定する暴団をいう。以下同じ。）。暴力団又はその構成員（暴力団の構成団体の構成員を含む。以下同じ。）若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5 年を経過しない者の統制の下にある者。暴力団の構成員又は暴力団の構成員でなくなった日から5 年を経過しない者を役員に含む法人。

5. 入札の手続き

5.1. 入札書類

以下①から④に定める書類一式（A4縦を基本とするが必要に応じA3も可）を提案書とし、各書類の原本（代表者印押印）1部を郵送すること。

- ・ 代表者の代理権限がある者の印も可能とする。その場合、委任状も合わせて提出のこと
- ・ なお提出書類の返却は行わない。
- ① 入札書（様式1）及び内訳明細書（様式自由）
- ② 技術提案書（様式自由）
- ・ 入札書の記入にあたっては、入札書等に記載された金額に当該金額の100分の10に相

当する消費税及び地方消費税の額を加算した金額をもって落札価格とするため、消費税及び地方消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を該当箇所に記載すること。

- ・ 内訳明細書の記入にあたっては、見積もった契約希望金額の内訳を記載することとし、消費税に係る課税事業者である場合には、消費税及び地方消費税に相当する金額を別途算入すること。
- ・ 入札書、内訳明細書及び技術提案書の記載にあたっては、仕様書に基づいて本業務についての業務範囲と追加的業務範囲を明確に分けること。
- ・ 技術提案書の記載にあたっては、仕様書に定める内容及び別紙1に記載の評価項目に照らして、実施内容と実施計画をできるだけ詳細に提案すること。
- ・ 仕様書に記載している要件は、絶対的な要件ではない。仕様書に記載されている、目的、目標、課題等をよく考慮に入れたうえで、実施可能性、費用対効果を考慮に技術提案をすること。なお、結果として満たさなくなった要件については、その旨明示し、考慮した内容についてできるだけ具体的な説明を添えること。

③ 組織概要(様式自由)

- ・ 商号・屋号、所在地、組織図、従業員数、担当部署がわかるもの
- ・ 類似業務についての実績
- ・ 適格請求書発行事業者番号

④ 再委託者届出書(必要な場合のみ)

- ・ 業務の一部を再委託する予定がある場合は、以下の添付書類(様式自由)を各1部提出すること。
- ・ 再委託者の代表者印の押された再委託者届出書
(再委託を受けることが示されていること。再委託者の名称、再委託する業務範囲を示すこと。)
- ・ 再委託者の組織概要

5.2. 入札書類提出期限

2025年5月1日(木)17:00必着

5.3. 提出先及び提出方法

入札書類の原本を封筒に入れ、封緘(割印)し、日本郵便株式会社の書留、簡易書留又は特定記録郵便のいずれかの方法で、期限までに到着するよう、以下の送付先に郵送すること。なお、「書留、簡易書留又は特定記録郵便物受領書(お客様控え)」は、落札者決定まで保管すること。

送付先

〒240-0115

神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11

公益財団法人地球環境戦略研究機関 IPCC-TSU

IPCC-TSU Web サイト再構築業務担当者宛

5.4. 副本の提出

入札書類の提出にあたっては、別途入札書類の電子ファイル(PDF形式)を添付の上、原本提出期限内に以下のメールアドレスに副本として、ipcctender2025@iges.or.jp宛に送信すること。

副本の作成にあたっては代表印等を押印する必要はない。

なお、当該副本は事務処理等に使用するものであり、副本の提出自体は、入札書類の提出とはみなさない。

5.5. 質問

本要項及び仕様書の内容に関する質問に限り、電子メールにて受け付ける。

- ・ 質問受付期間: 本募集要項公示後から4月25日(金)15:00まで
- ・ 質問先: IGES担当者、電子メールアドレス: ipcctender2025@iges.or.jp
- ・ 質問への回答方法: 電子メールにて随時質問した者に回答する。

6. 受託業者選考方法、契約のプロセス

6.1. 提案の審査、落札者の選定

IGESに設置する、提案審査委員会において、提出書類を公平かつ客観的に評価し、価格面、技術面、運用面を総合的に勘案して、最も優れた提案を行った者を落札者として選定する。また、次点もあわせて選定する。なお、審査の過程において、不明点等につき提案者にヒアリングを行うことがある。

選考結果については、遅くとも2025年5月8(木)を目処として提案した全社に対して通知する。選考の理由は開示しない。

6.2. 受託事業者の決定

落札者は、IGESと協議して、提案内容及び入札価格に基づいて業務委託契約書を取りまとめる。協議が整えば、受託事業者となるが、不調の場合、IGESは次点と協議を行う。

6.3. 契約の締結

IGESは、6.1.で決定された受託事業者と、協議において作成された業務委託契約書に基づき、2025年5月28(水)を目処として契約を締結する。

7. その他

7.1. 守秘義務

入札参加者と受託事業者(再受託者含む)は、入札参加及び委託業務を行うにあたり、知り得た内容及び成果物に関する一切の情報を、本受託業務の目的以外に使用、第三者に開示若しくは漏洩、あるいは自己の利益のために使用したりしないこと。契約期間終了後も同様とする。

7.2. 知的財産の取り扱い

受託者は、公益財団法人地球環境戦略研究機関に対し、一切の著作権人格権を行使しないこととし、また、第三者をして行使させないものとする。

納入成果物に第三者が権利を有する著作物が含まれている場合は、公益財団法人地球環境戦略研究機関が特に使用を指示した場合を除き、受託者は当該著作物の使用に必要な費用の負担を含む一切の手続きを行うものとする。

本受託業務の実施に関し、第三者との間で著作権に係る権利侵害の紛争等が生じた場合は、当該紛争の原因が専ら公益財団法人地球環境戦略研究機関の責めに帰す場合を除き、受託者は自らの責任と負担において一切を処理するものとする。

なお、公益財団法人地球環境戦略研究機関は紛争等の事実を知ったときは、速やかに受託者に通知することとする。

7.3. 提案書の取り扱い

提出された入札書類は、提案者に無断で、公益財団法人地球環境戦略研究機関において提案の審査以外の目的に使用することはない。なお、受託者の技術提案書の内容については、契約書に添付又は記載されるものであり、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年法律第42号）等に準じて、不開示情報（個人情報、法人等の正当な利益を害するおそれがある情報等）を除いて開示される場合がある。

8. その他の留意事項

- 提案書の作成・提出、ヒアリングへの参加等の、一切の経費は提案者の負担とする。また、提出された書類は返却しない。
- 提出は1者につき1件とする。
- 提出書類の変更及び差し替えは認めない。
- 提出期限を過ぎて提出された書類、虚偽記載がある書類、必要な書類を欠いた提案は、無効とする。

(別紙1) 入札書類の審査項目

審査項目

対象	項目	審査のポイント
本業務範囲	入札金額	・実施可能な範囲にあるか ・より廉価な入札金額か
	仕様満足度 実施計画	・実施内容は仕様書に規定した要件、業務の目的や業務内容に沿っている提案か ・実施計画の内容、納期は妥当か。
	デザイン	デザインの審美性 ・審美的なデザインとなっているか ユーザビリティの向上 ・ナビゲーションが直感的に操作可能なデザインか ・モバイル対応が見込めるか アクセシビリティの改善 ・すべてのユーザを対象にしたものになっているか
	コンテンツ構成 コンテンツ管理	構造 ・メニューを含め、既存サイトからの構成の変更について対応できているか ・新たに見込まれるコンテンツに対応できる構成か データ移行 ・リンクの継続性を含めて、既存サイトからのデータ移行について効果的な手順が見込めるか コンテンツ管理の機能性 ・システムは必要十分な機能性を有しているか ・コンテンツ管理の操作は容易にできるか ・構成変更等について新たなニーズに柔軟に対応できるか
追加的業務範囲	その他	レポート ・サイトアクセス状況、ユーザ状況、パフォーマンス等を可視化できるか SEO ・いわゆる SEO 対策ができるか セキュリティ対応 ・システムは堅牢性を有しているか ・セキュリティアップデート等に柔軟に対応できるか パフォーマンス ・サイトのパフォーマンスに問題はないか 発展性 ・追加的業務範囲を射程に入れた構成となっているか
	入札金額	・実施可能な範囲にあるか ・より廉価な入札金額か
	仕様満足度 実施計画	・実施内容は仕様書に規定した要件、業務の目的や業務内容に沿っている提案か ・実施計画の内容が妥当か

(様式 1)

入 札 書

公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長 殿

入札件名	IPCC-TSU Web サイト再構築業務
------	-----------------------

上記入札件名につき仕様書を熟覧のうえ入札します。

本業務範囲 請負費用総額			百万			千			
-----------------	--	--	----	--	--	---	--	--	--

(金額はアラビア数字で記入し、頭書に¥を付記すること。)

(税抜)

追加的業務範囲 請負費用総額			百万			千			
-------------------	--	--	----	--	--	---	--	--	--

(金額はアラビア数字で記入し、頭書に¥を付記すること。)

(税抜)

年 月 日

住所

商号又は屋号

代表者名

印

連絡先 (メールアドレス)

IPCC-TSU Web サイト再構築業務 仕様書

2025 年 4 月

公益財団法人地球環境戦略研究機関

IPCC-TSU Web サイト再構築業務 仕様書

1. 業務の概要

1.1. 目的

IPCC TFI TSU は、TFI ウェブサイトの再構築を検討している。TFI ウェブサイトの再構築にあたり、そのデザインを近代化し、使いやすさを向上させ、国別温室効果ガスインベントリ手法のための重要なリソースハブとしての機能性を高めるようにしたい。これにより、更新されたウェブサイトは、現代的でレスポンスなデザインを特徴とし、コンテンツ管理を合理化し、多様な国際的な利用者のニーズをサポートするための直感的なナビゲーション体験を提供することを目的とする。

1.2. 対象者

ウェブサイトは、以下のような幅広い関係者を対象としている。

- 政策立案者および政府職員：GHG 報告のための正確で標準化された方法論を求めている。
- 技術専門家およびインベントリ作成者：堅牢な温室効果ガスインベントリを作成するためのツール、ソフトウェア、ガイドラインにアクセスする。
- 学者および研究者：排出係数に関する EFDB などの科学的に検証されたリソースを参考にしている。
- 一般市民：TFI の活動、最新情報、気候変動報告に関するリソースについて最新情報を入手する。

1.3. 主な目標

- 1) デザインの近代化とユーザビリティの向上
 - 現代的でユーザーフレンドリーなデザインを導入し、モバイル対応と直感的なナビゲーションを確保すること。
 - ナビゲーションとインターフェースデザインにおける既存の問題点を解決することで、全体的なユーザ体験を向上させること。
- 2) 対象者に合わせたコンテンツの最適化
 - 政策立案者、技術専門家、研究者など、対象者のニーズに合わせてコンテンツを更新、整理、関連性を向上させること。
 - コンテンツが検索可能でアクセスできるようにし、ユーザーエンゲージメントと検索エンジンの可視性を向上させること。
- 3) セキュリティとパフォーマンスの強化
 - セキュリティ対策を強化し、ユーザーデータを保護し、国際基準への準拠を確実なものにすること。
 - 読み込み時間やアップタイムなどのパフォーマンス指標を改善し、シームレスなブラウジング体験を提供すること。
- 4) コンテンツ管理とアクセシビリティの促進
 - 管理者にとってコンテンツ管理プロセスを簡素化し、更新を効率的に行えるようにすること。
 - アクセシビリティ基準(WCAG など)に準拠し、すべてのユーザにとって使いやすいウェブサイトにする。

5) 分析とレポートの実装

- ウェブサイトのパフォーマンスとユーザ行動を監視するための堅牢な分析を設定し、継続的な改善とデータに基づく意思決定を可能にすること。

2. 既存サイトの概要と課題

2.1. 概要

TFI ウェブサイトは、国別温室効果ガスインベントリに関する IPCC ガイドライン、方法論レポート、ツールの中心的なリソースとして機能している。その主な機能は、方法論レポート、IPCC インベントリソフトウェア、IPCC 排出係数データベース(EFDB)、TFI 会合および活動に関する情報へのアクセスを提供することにある。現行のウェブサイトには価値あるコンテンツがある一方で、そのデザインと機能については現代の基準に遅れをとっており、ユーザーエンゲージメントとアクセシビリティを低下させている。

2.2. 主な課題

1) コンテンツの表示

- 特に報告書において、セクション間でフォーマットが一貫していないため、ユーザ体験が断片的になっている点。
- TFI 会合・活動などのセクションの情報量が膨大で、ユーザが特定の資料を見つけにくい点。
- 政策立案者、研究者、教育者など、異なる利用者層に合わせたリソースがない点。

2) デザインとユーザビリティ

- 時代遅れのビジュアルデザインと不自然なマージンが、サイトの外観に悪影響を与えている点
- モバイル対応とナビゲーションが不十分なため、モバイルユーザーのアクセシビリティが損なわれている点
- 高度な検索機能やフィルタリングオプションがないため、特定の文書やデータを見つけにくい点

3) 特定のセクションの問題

- IPCC ガイドラインと方法論: コンテンツはよく整理されているが、視覚的に魅力がなく、無関係な情報で煩雑になっている点
- IPCC インベントリソフトウェア: ソフトウェアの説明が不十分、レイアウトが分かりにくい、魅力的なコンテンツがない点
- EFDB セクションについて、貴重なデータリポジトリだが、ナビゲートしにくく、ユーザーフレンドリーなフィルタリングやエクスポートオプションがない。そのデザインは TFI のメインウェブサイトから切り離された感じがする点
- ニュースと更新情報: 視覚的な魅力が最小限で、フィルタリングオプションがなく、過去の更新情報の整理が不十分である点
- コラボレーションと知識共有: 研究者が共同作業したり、自分の作品を投稿したりする中央の場がなく、リソースが分散している点

2.3. コンテンツ整理についての概要

保持するもの:

- 国別温室効果ガスインベントリに関連する方法論ガイドと技術報告書

- ・ コアリソースとしての IPCC インベントリソフトウェアと EFDB
- ・ TFI の活動に関するニュースと最新情報

更新するもの

- ・ ユーザビリティを向上させるためのすべての主要セクションの視覚的および機能的デザイン
- ・ ナビゲーションを容易にするための会議資料の整理とフォーマットの変更
- ・ 文書、データ、更新のための検索およびフィルタリングツールの統合

削除またはリファクタリングするもの:

- ・ レポートやリソースに存在する、無関係なあるいは時代遅れの詳細情報
- ・ 重複した、または散在している教育資料(まとまりのある、対象者に特化したリソースになるようにする)

3. 仕様概要

3.1. 本業務範囲と追加的業務範囲

今回委託する予定の業務は、上述の目的・目標の達成、課題の解消のため、主に、TFI ウェブサイトとして一般に公開されているウェブサイトを再構築するものであり、これらの業務を本業務範囲として、その要件は、以下の「3.3.機能要件」及び「3.4.全体としての要件」にて詳述されている。また、これらとは別に、今回あるいは今後において以下の改修を計画しているものを「3.5.追加的業務範囲とその要件」として下に記している。これらは今回委託する予定の業務から、さらに発展的にサイトを構築するものであるため、別建てで仕様を示しているが、実施可能な限りにおいて契約に入れ込む計画である。

3.2. 工程、成果物

工程を踏んで、以下のものを提供すること。

- ・ 承認のためのモックアップ
- ・ テストのためのウェブサイトのドラフト
- ・ ライブウェブサイト
- ・ CMS 等の セットアップ
- ・ TSU がウェブサイトを更新できるようにするための十分な文書
- ・ ウェブサイトの立ち上げ後、問題やバグに対処するためのサポート

なお、請負業者は、サイトのコンテンツを開発することを期待されていないが、既存システムからのデータ移行は必要となる。

3.3. 機能要件

改訂されるウェブサイトはトップページのほか、7つのセクションで構成される。各セクションの機能要件の概要は以下の通り。

1) IPCC Guidelines and Methodologies

- ・ 出版物、セクター、またはトピック別に分類された方法論レポートの直感的なライブラリ。
- ・ トピックなどによるレポートライブラリの検索機能。
- ・ 特定のコンテンツ(例:レポート、章、プレゼンテーション)にアクセスするための、ウェブサイト全体にわたる検索およびフィルタリングオプション。これには、トピックやコンテンツタイプ(例:会議、レポートなど)のタグ作成が含まれる。
- ・ 従来通り、PDF 文書へのリンクを含むテキストと画像を含むウェブサイトページ。これらのペー

ジでは、主要情報を提示する際に標準的なアプローチを使用する必要がある。

- 最も重要なレポートを強調表示し、簡単にアクセスできるように目立たせる仕組み。
- 第 7 回 IPCC サイクル中に予定されている方法論レポート専用のセクションを追加し、更新や関連情報を提供できるようにすること。

2) IPCC Inventory Software

- 明確なヘッダーとアイコンを使用した、個別のセクション (“About the Software”, “Key Features”, “Download and Installation” and “Support and FAQ”) を含むページ。
- ソフトウェアの最新バージョン用の目立つ “Download” ボタン。
- ソフトウェアのダウンロード時、およびバグ/不具合の報告時にフォームを導入する。
- FAQ を検索する機能。

3) Emission Factor Database (EFDB)

- メインの TFI サイトとのデザインの一貫性とメインサイトメニューへのアクセス。

4) TFI Meetings and Activities

- 会議ごとに 1 つのウェブサイトページを作成し、PDF(会議報告書など)へのリンクだけでなく、テキスト/画像も掲載する。これらのページは、事前に設定されたレイアウトを持ち、より多くの情報が追加されるにつれて(例えば、会議報告書が発行されるなど)簡単に更新できることが必要。
- 前述と同種のタグ付けシステム。本セッション会議ページと関連文書の両方において適用することが必要。
- トピック、会議タイプ、日付でフィルタリングできる検索機能。ユーザは関連コンテンツを素早く見つけることが可能となる。
- 特に現在のサイクルまたは重要な TFI 活動に関連する、最も重要かつ最近の会議を強調する強調表示の仕組み。

5) Educational and Public Resources (仮)

- 既存の FAQ ページと Link ページの後継。
- ラベル付けシステムを備えた、検索可能な FAQ。
- 他サイト、あるいは自サイトの他の部分、にある重要な資料へのリンク。
- 画像、文書へのリンク、ビデオを含むことができる機能。

6) News and Updates

- テキスト、画像、文書、およびサイトの他の部分へのリンクを含む、会議以外の更新情報ごとのウェブサイトページ。会議ページと同様に、これらはタグ付けシステムに含まれる。
- トピック、会議タイプ、日付でフィルタリングできる検索機能を備えたニュースおよび更新ページ。これにより、ユーザは関連コンテンツを素早く見つけることができるようになる。このページには、最新の更新情報の一覧/バナーも含まれている必要がある。
- ニュースレターに登録するためのフォーム。
- 個々の更新ページで、ニュース記事をソーシャルメディアに共有できる「共有」リンク。
- 今後の活動のリストと、それぞれのページへのリンク(例: 開発中の方法論レポート、今後の会議)。

7) EDG

- 既存と同様の導入ページ

- メインの TFI サイトの一部となるよう、デザイン及びメニューの一貫性
- 会議ごとに関連ドキュメントを参加者に共有することを目的としたフォーラム
- メールベースで参加者を招待できるようにする
- ファイルだけでなく、内容の説明等のために文書を入れられ利用にする
- 参加者ごとのオリジナルのアカウントをメールアドレスに紐づけて払出
- パスワード再設定機能
- ユーザ管理とパーミッション管理
- フォーラムのスレッドの移動、表示順変更、削除等の管理

8) 共通コンポーネント

- 折りたたみ式メニュー
- サイト全体の検索バー
- ニュースや会議の更新情報を表示するためのホームページのスクロールバナー
- 組織概要
- 問い合わせフォーム

3.4. 全体としての要件

以下、サイト全体としての要件を示す。

- すべてのページで一貫した、モダンでクリーン、かつプロフェッショナルなデザインにすること
- 主要ブラウザおよびデバイスとの互換性をもたせること
- 更新の容易性とメンテナンスコストの効率性を実現すること
- 新しいウェブサイトは、法的および規制上の要件(例:GDPR、アクセシビリティ)を満たすこと
- データ移行において、主要ページの URL を既存のままにすること

3.5. 追加的業務範囲とその要件

1) Emission Factor Database (EFDB)

- 全文検索機能(別ページでの)。
- データをフィルタリングするために完成された初期フォームクエリを使用した、メイン検索機能ページ。フィールドは、設定リストまたはテキスト検索(対象フィールドに応じて)から選択することでフィルタリングできるようにしておく必要がある。
- 修正された基本検索ページで、別ページにある ID を検索する機能を含める。
- 個々のポイントをクリックするだけでなく、EFDB 内のすべてのフィールドを一括して表示およびエクスポートできるようにする。
- 表示/エクスポート可能なフィールドを選択する機能を維持する。
- テキストページのセクション化を改訂/導入し、ページ数を合理化する。

2) コラボレーション・知識共有サイト

- 研究者が共同作業したり、論文や研究内容等を投稿したり議論する場を提供する機能
- トピックごとに管理者がスレッドを立ち上げる機能
- 参加者ごとのオリジナルのアカウントをメールアドレスに紐づけて払出
- パスワード再設定機能
- ユーザ管理とパーミッション管理
- フォーラムのスレッドの移動、表示順変更、削除等の管理

4. 技術的留意点

必要となる考慮事項について以下に挙げる。

1) システム/プラットフォーム

前述の業務範囲やその仕様、また運用面も考えて、どのようなシステムを導入するかを考慮すること。業務範囲については追加的業務範囲も前提にしたうえで考慮する必要がある。

コストや利用可能な既存リソース等の観点から CMS には WordPress での構築・運用が候補に挙がってくることを想定している。その一方で、運用の容易性やサイトのセキュリティを考えると、例えば静的サイトジェネレータ等を候補に入れるべきではないかと思われる。

また、既存サイトからのデータ移行という課題も考慮する必要がある。

2) ホスティングサービス

現在、ウェブサーバー、PHP、MySQL、Apache::ASP などに GCE (Google Compute Engine) を使用しているが、これらの運用保守にも労力を費やしている。また、CMS を実行する場合、サービスのセキュリティ更新に関連する作業が増える可能性がある。選択したプラットフォームによっては、より安定した運用が可能なホスティングサービスについて提案してもらいたい。

3) メールサービス

問い合わせフォームをはじめ、EDG やコラボレーションサイト等を用意する際には、アカウント利用の関係でメール機能が必要となる。これらの状況と管理容易性を考慮に入れたメールサービスの提案をしてもらいたい。

4) CDN

CDN サービスは、IGES ドメインを使用している関係で、Cloudflare のものをインストールする予定。

以上